



平成 20 年 1 月 15 日

各 位

香川県高松市扇町 2 丁目 7 番 20 号

セーラー広告株式会社

代表取締役社長 古田 泰仁

(コード番号：2156)

問い合わせ先 取締役総務本部長 山内 務

TEL 087-825-1156

平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正について

平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期（連結・個別）業績予想につきまして下記のとおり前回発表の業績予想を修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期通期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（平成 19 年 6 月 21 日）(A)	11,267	400	367	204
今回予想 (B)	10,120	178	183	95
増減額 (B-A)	△1,146	△221	△183	△108
増減率 (%)	△10.2	△55.4	△49.9	△53.0
前期実績（平成 19 年 3 月期）	11,042	405	416	206

2. 平成 20 年 3 月期通期の個別業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（平成 19 年 6 月 21 日）(A)	10,623	366	333	184
今回予想 (B)	9,481	153	157	87
増減額 (B-A)	△1,142	△213	△175	△97
増減率 (%)	△10.8	△58.2	△52.6	△52.8
前期実績（平成 19 年 3 月期）	10,410	367	377	186

3. 修正理由

広告業においては、個人消費の回復を下支えとした国内経済の景気回復が持続することを前提に、新規顧客開拓案件の獲得のほか、広告主へのクロスメディア型提案活動および各種メディアを活用した提案活動、セールスプロモーションの提案強化に注力してまいりました。しかしながら、官公庁、娯楽関連業、通信業の広告

費削減、建築業における確認申請の滞り、新車買い控え等による年末、年始の新聞、テレビ、印刷広告需要の不振、地域ブログサイトの売上全体への相乗効果を期待していたがこれが充分ではなかったこと等により第3四半期において当社売上高予想を大きく下回る状況となりました。また、粗利益率についても印刷関連における競争激化の影響、制作社員の増員効果が微増にとどまった等の要因があり、営業推進体制強化、諸費用削減を含むいっそうの効率経営推進を図ってはおりますが、売上高 9,481 百万円、営業利益 153 百万円、経常利益 157 百万円、当期純利益 87 百万円となる見込みとなったものであります。

また、出版業においても、地域経済の活力の回復力に乏しく、月刊誌広告受注の減少を別冊書籍売上等でカバーしたものの、別冊単行本発行増による粗利益率の低下を見込む状況となりました。

以上の結果、連結では売上高 10,120 百万円、営業利益 178 百万円、経常利益 183 百万円、当期純利益 95 百万円となる見込みとなったものであります。

なお、平成 20 年 3 月期の配当予想（期末配当 5 円 00 銭）に変更はありません。

(注) 本資料による業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報等により当社で判断したものであります。今後様々な要因により実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上